

# 樂樂



平成 22 年 8 月号  
広報担当：嶋田



<http://www.asahikonsei.com/>

## ☆練習スケジュール☆

月／日	会 場	時・間	備 考
8月	8日(日) 旭丘公民館	"	18:00～ヴォイトレ(全員)
	14日(土)		お盆につきお休み
	22日(日) 旭丘公民館	19:00～21:00	
	28日(土) "	"	
9月	4日(土) 瀬戸合唱フェスティバルリハーサル		瀬戸市文化センター文化ホール
	5日(日) 瀬戸合唱フェスティバル		"
	11日(土) 旭丘公民館	19:00～21:00	実行委員会 PM, PL 会 6:00～
	18日(土) "	"	
	26日(日) "	"	アート
10月	2日(土) 3日(日) "	"	
	9日(土) "	"	
	16日(土) 中央公民館軽音楽室1	"	
	24日(日) 旭丘公民館	"	
	30日(土) "	"	



### <第49回合唱祭 演奏の感想>

去る6/12に参加した合唱祭の演奏について、感想をいただきました。

原文のまま掲載いたします。

■ 男声は広くて深くて伸びのある良い声だと思いました。

女声も高音がきつくならず、豊かな音色で良かったです。《女性 16歳 合唱経験2年》

■ ハモっててよかったです。特に男性の方の声がよくひびいてよかったです。

これからもがんばってください。《女性 17歳 合唱経験2年》

■ ピアノが大変上手で、聞きやすかった。

学生の若い（ききなれた）声をききつつ、社会人、おばさま方の声がきけて、よかったです。

《男性 40歳 合唱経験なし》

たちはここに来てからよくウェンツィアを聞いています。《女性 30歳 合唱経験なし》

残数の切符が二枚あるの。静かに歌が聞こえてるそうよ。ねむる音

ことばや、精神的な癒し

私達が生きて、呼吸して

よくつづり

そして、二人が見たオペラは、

アーヴィングで初演されたウェルティの



お疲れ様で  
した

発表会



新入団員波多野さん

普段は控え目でもいいけど、ステージでは目立ってね

11日7月(日)急な出来事のあった方を除き、ソプラノ16人集まりました。みなさんこんな会を待ち望んでいたのですね。谷口さん、小坂さん、加藤さんありがとうございました。場所は、「唐芳月」。団で来たことのあるところです。みんなで乾杯!その後各所で話が盛り上りました。練習時では話す機会のない方ともたくさん話ができました。

もう一人の幹事「加藤さん」現る!  
もうすぐ大好きなブラームスの練習始まります  
練習にも来てね  
ソプラノ16人集まりました

人生経験豊かな諸先輩方に、人生の壁を克服するワザを教えていただきました。最後にみんなで最高の顔(画像が暗くて残念(ノ\_。))で記念撮影をし、幸せな酔い心地(ノンアルコールの人も気分はね(笑い))で解散しました。

(S:岩本)



## ◆暑気払い懇親会 兼 新入団員歓迎会◆

毎年恒例となってまいりました夏の一大(?)イベント。暑さも夏バテもふっ飛ばし、みんなで盛り上がりろ~!

とき: 2010年8月21日(土) PM6:00~

ところ: 鮓 江戸芝(尾張旭市東本地ヶ原町 2-5 TEL 0561-54-9814)

会費: 4,000円(飲み放題)

備考: 尾張旭駅より送迎バスあり(PM5:30集合)

駐車場(十数台)有り

寿司屋さんなので、料理は折り紙付きで(料金が安いのでそれなりに工夫しての料理ですが)、冷酒がお薦めです。気に入ったら今後ともご最員に~。

(レクリエーション係: A大澤)

# ★『ゴンドラの唄』誕生について

## 《曲目解説資料》

『ゴンドラの唄』は、1915年（大正4年）芸術座第5回公演、ロシアの文豪ツルゲーネフ原作『その前夜』の劇中歌として生まれた。吉井勇作詞・中山晋平作曲で松井須磨子が歌唱して大正日本に流行した歌謡曲である。『カチューシャの唄』同様に大衆の圧倒的支持を得た。

歌詞については、森鷗外が翻訳したアンデルセン原作『即興詩人』に、『ゴンドラの唄』とよく似た歌が紹介されています。ヴェネツィアの民謡として作中に出てくるのですが文体の違いを除けば内容はそっくりです。

大正4年、『ゴンドラの唄』を作詞した当時、吉井勇は文芸誌『スバル』主催者の一人でしたが、森鷗外も主な執筆者だったことから、吉井勇は鷗外に直接承諾を得て、『ゴンドラの唄』を作詞した可能性が高いと言われています。（参考：<http://park11.wakwak.com/~siori/utakata.html>）

『余談ですが』は1952年、黒澤明監督作品『生きる』で、志村喬演じる主人公が雪の降る夜にブルンコをこぎながら、この歌を口ずさむ感動的なシーンがある。

1860年、いよいよ農奴解放が近づき、社会の変革を期待して国民感情が大きく高揚した時代に、ツルゲーネフは、次の時代を担うであろう人物についての物語を書いた。

『その前夜』はモスクワ郊外の別荘を舞台にしている。そこにエレーナという令嬢がいて、芸術のための芸術を主張する彫刻家、理想主義者、有能な官吏など、花婿志望者が彼女を取り巻きながら、議論に打ち興じている。だが彼女はブルガリアの独立運動の志士インサーロフに夢中で、彼らの論戦には興味がない。当時ブルガリアはトルコの圧政下にあり、貧しい留学生のインサーロフは祖国を解放すること以外に何も考えない革命の闘士である。その強い意志と行動力に、エレーナは魅せられ、二人は結婚する。当時のモスクワ貴族の娘としては、親の承諾もなしに外国人と結婚するなど論外の話である。インサーロフに、理想の英雄を見いだして、親を捨て家を捨てて異郷の空に飛んでいくこうとするエレーナこそ、ツルゲーネフの書く「強い女性」の典型である。ところが、インサーロフはブルガリアへの帰途、重病にかかり、イタリアで客死する。にもかかわらず、エレーナは亡夫の祖国におもむき独立運動に参加するが、その後の消息は誰も知らない、というツルゲーネフ得意の結末で戯曲は締めくくられている。

★何故、ゴンドラ? ~以下の文からお分かりでしょうか~

ところで、原作に『ゴンドラの唄』は出てこないのですが、インサーロフの祖国ブルガリアに向かう途中、二人は前途への暗い予感を感じながらも凋落の都ヴェネツィアを楽しもうとします。そのときのエレーナの台詞が、こうなのです。「ねえ、カナル・グランデ（運河）を舟でいってみない？ 私たちはここに来てからろくにヴェネツィア見物をしていないのよ。そして晩には劇場に行きましょう。桟敷の切符が二枚あるの。新しいオペラをやってるそうよ。ねえ、今日という日をお互いに捧げ合うことにして、政治だの戦争だのはみんな忘れて、たった一つのことだけ知っていることにしましょう。私達が生きて、呼吸していて、そして二人とも永久に結ばれていると考えているということだけ。ねえ、よくって？」

そして、二人が見たオペラは、1853年、実際にヴェネツィアで初演されたヴェルディの『椿姫』でした。（出典参考：<http://blog.goo.ne.jp/sakai-kazuyuki/>）

（T 酒井）

## 【おせっかい豆辞典】

### 【過呼吸】

『発声練習で過呼吸、6人病院に搬送』という記事がありました。なんでも、オープン前のゲームセンターで接客研修として地下室で30人のアルバイトが「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」と大声で発声練習を30分間行っていたとか。

過呼吸(過換気症候群)となるとどうなるか、呼吸を必要以上に行うと呼気からの二酸化炭素(炭酸ガス)の排出が必要量を超え動脈血の二酸化炭素濃度が減少して血液がアルカリ性に傾くため息苦しさを覚えて、更に激しい呼吸を行うため、より症状(動悸、目眩、痺れ)が強くなる悪循環となるようです。(wikipedia) 要するに《息を吸えば吸うほど息苦しくなる》ことでしょうか。

人間は、生まれたときから呼吸をし、声を出しています。それなのに発声法、呼吸法となるとなんと難しいことか、ものの本によると「自然に」とありますが、これが又難しいことです。

合唱指導のDVD(埼玉県豊春中学校)を見たところ、指導の内容は我が旭混声と大差はありませんが中学生が対象とすることでやや丁寧にややしつこく指導されていて、それなりに参考になるように思いました。

要約すれば、身体はリラックスし、脱力から始まり必要な筋肉は“イッ”と感じるくらいで鍛える、息を吐く時は横隔膜を下げたまま(腹を凹ませない)、息を全部吐ききる、息を吸おうとせず筋肉を緩めれば自然に入る(⇒瞬間プレスも同じ)と、こんなところでしょうか?

息を吐ききらず、肺に空気が残ったままヒーヒー吸っているとかえって息が続かなくなつて息苦しく「過呼吸」の悪循環ということも! 吸うことよりも吐くことを意識する呼吸法が重要で息を吐ききれば吸おうとしなくても呼気の緊張を緩めると自然に空気が肺に入ってくる、の訓練が必要ということになりますか?

続いて、歌っているとき顔の上顎から上とお腹から下の筋肉とを使いますが、それ以外は力が入ってはいけませんとか、舌が太く(丸く)ならないように平べったくとか、眉毛を上げて口は逆三角形とか、声は張り上げるのでなく響かせることで各パートの音色を揃えるとか、自分の発声に責任を持つこと(=自覚すること)、などの指導をしています。

こんなことは、先刻ご承知のことですが、中学生に出来て我々に出来ないのは何故?

理屈が解っていてもなかなかできない「呼吸法」としては「循環呼吸」があります、オーボエやフルートのプレイヤーが息継ぎもせず口から息を吐き鼻から吸って長々と演奏するアレですよ。アボリジニは、民族管楽器(ティンバリドウ)を演奏するとき、息を頬にため込んで頬を膨らませ徐々に吐き出しながら鼻から息を吸うらしいのですが、不用意にまねして過呼吸どころか無呼吸になるかもしれないで、ご用心。

ところで、音楽は心ですよね、コーラスは心を一つにすることですよね、さらに聞く人の心も共に輝く光で満たすことができれば最高! なんて、思いません? そして青春時代の感性は勿論のこと朱夏や白秋もそれなりに、さらには玄冬の心にも輝きが潜んでいるとは思いませんか?



# ♪イベント情報♪

## ◆合唱団GMC演奏会 2010

～うた・うた・うた～

日 時：2010年8月29日（日） 14:00 開演（13:30 開場）

場 所：岐阜県県民ふれあい会館 サラマンカホール

入場料：1,000円

〈演奏曲〉 Act 1 「歴代Nコン課題曲を集めて」

Act 2 混声合唱のための「おらしょ」

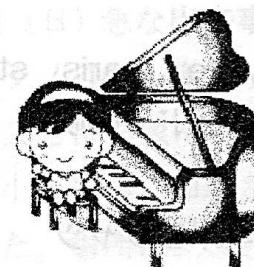
Act 3 「今、うたう」

Act 4 混声合唱組曲「心象の海」

指揮：梶田 慶太

ピアノ：石川 ひとみ

村上 穂



## ◆毛利 美奈子ソプラノリサイタル

～ドニゼッティ ベルカント・オペラの喜劇と悲劇～

日 時：2010年9月24日（金） 19:00 開演（18:30 開場）

場 所：刈谷市総合文化センター アイリス 小ホール

入場料：3,000円（全席自由）

piano：青木 園恵

tenor：毛利 和雄（客演）



万葉 暑 おみまい  
申あづます

## 〈編集後記〉

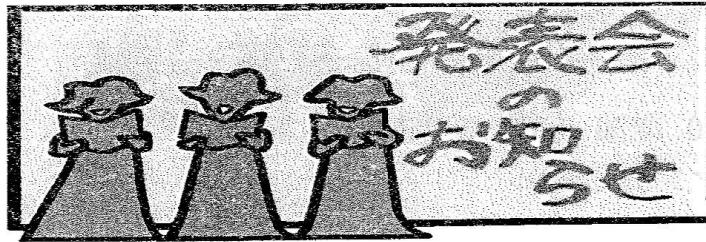
毎日うだるような暑い日が続きますが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。私は先週からエアコンのない部屋で仕事をして体調を崩してしまいました。みなさんも熱中症に気をつけてこの夏を乗り切りましょう。



世界各地で異常気象による「非常事態」が起きていてます。日本でも例年ない猛暑で、熱中症で医療機関に緊急搬送される人が増加しています。

熱中症になってしまったら、①涼しい日陰に移動する ②衣類をゆるめて休む ③体を冷やす ④水分を補給するなど早めの対応をしてください。

(S：嶋田)



●演奏曲：Ave maris stella (グリーグ)、Cantate Domino? (ハスラー)、  
ゴンドラの唄、カチューシャの唄

●衣装：上＝ポロシャツ 下＝黒・紺等濃い色系のスカート・パンツ・ズボン等

●リハーサル＝9月4日（土）

17:50	ロビー集合
18:00	声出し
19:40	第一リハーサル室にて練習
20:20～21:00	舞台にてリハーサル

※21:30までに会場を出ましょう

●本番＝9月5日（日）

11:00	ロビー集合	第一リハーサル室集合
11:15～11:40	声出し	
11:30		フェスティバル開始
(12:30)	コールネージュ	
12:45		全員合唱
(13:35)	瀬戸市民合唱団	
13:50～14:05	旭混声	本番
16:05	終演	

\*全員合唱（指揮：鵜飼八郎氏 演奏：古瀬戸吹奏楽団）

エーデル・ヴァイス（1番 英語・2番 日本語）

ふるさと（1番・2番）

※観客席より入場、演奏後 観客席へ退場します

\*舞台転換作業：S谷口さん、S小坂さん、T梅村さんががんばってくださいます

\*着替え室：リハーサル室2

\*必ず北駐車場を使用してください。